

世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 世帯主の年齢階級別

(1) 世帯主が50歳未満の世帯では負債現在高が貯蓄現在高を上回る

二人以上の世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が812万円と最も少なく、60歳以上の各年齢階級では2000万円を超える貯蓄現在高となっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1469万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高が少なくなっている。また、負債保有世帯の割合は40～49歳の世帯が66.1%と最も高く、40歳以上の世帯では年齢階級が高くなるに従って低くなっている。

純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、70歳以上の世帯の純貯蓄額は2321万円と最も多くなっている。一方、50歳未満の世帯では、負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、負債超過となっている。

(図 - 1 - 1、表 - 1 - 1)

図 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高、負債保有世帯の割合  
(二人以上の世帯) - 2022年 -

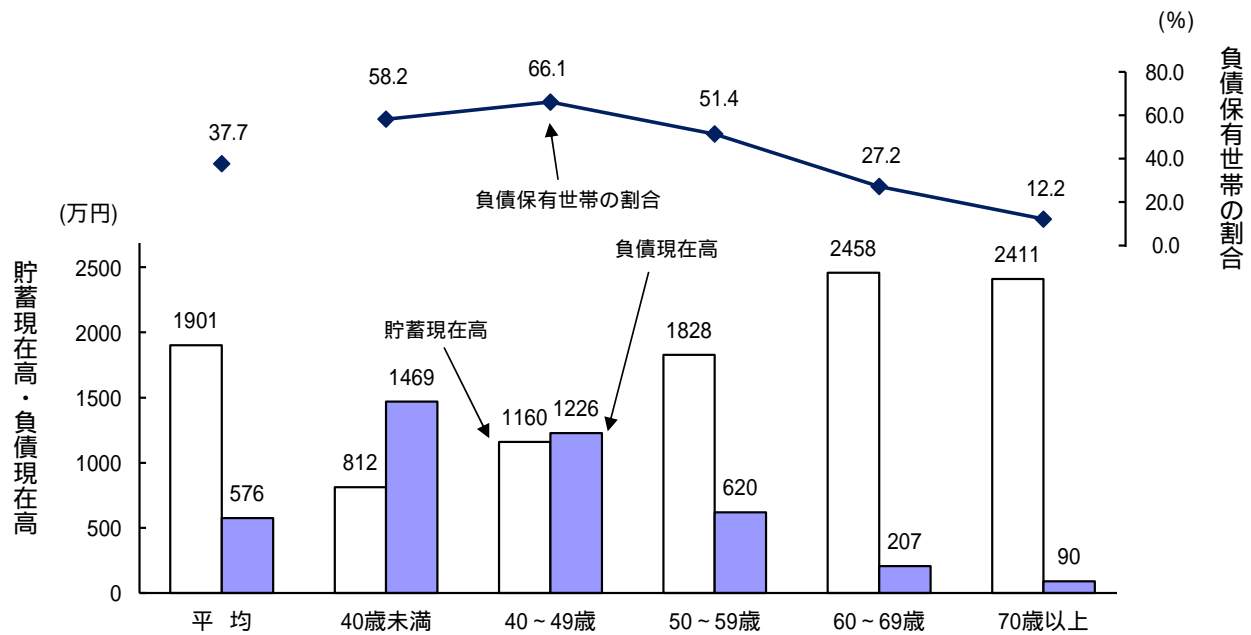


表 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貯蓄現在高(万円)						
2017年	1812	602	1074	1699	2382	2385
2018	1752	600	1012	1778	2327	2249
2019	1755	691	1076	1704	2330	2253
2020	1791	708	1081	1703	2384	2259
2021	1880	726	1134	1846	2537	2318
2022	1901	812	1160	1828	2458	2411
対前年増減率(%)						
2018年	-3.3	-0.3	-5.8	4.6	-2.3	-5.7
2019	0.2	15.2	6.3	-4.2	0.1	0.2
2020	2.1	2.5	0.5	-0.1	2.3	0.3
2021	5.0	2.5	4.9	8.4	6.4	2.6
2022	1.1	11.8	2.3	-1.0	-3.1	4.0
年間収入(万円)						
2022年	641	682	788	868	607	425
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)						
2022年	296.6	119.1	147.2	210.6	404.9	567.3
負債現在高(万円)						
2017年	517	1123	1055	617	205	121
2018	558	1248	1105	683	207	104
2019	570	1341	1124	652	250	70
2020	572	1244	1231	699	242	86
2021	567	1366	1172	692	214	86
2022	576	1469	1226	620	207	90
対前年増減率(%)						
2018年	7.9	11.1	4.7	10.7	1.0	-14.0
2019	2.2	7.5	1.7	-4.5	20.8	-32.7
2020	0.4	-7.2	9.5	7.2	-3.2	22.9
2021	-0.9	9.8	-4.8	-1.0	-11.6	0.0
2022	1.6	7.5	4.6	-10.4	-3.3	4.7
住宅・土地のための負債(万円)						
2017年	463	1057	988	540	162	86
2018	501	1184	1031	588	163	75
2019	518	1283	1052	578	190	51
2020	518	1169	1152	620	192	66
2021	513	1292	1080	618	172	62
2022	526	1392	1150	549	161	75
負債保有世帯の割合(%)						
2017年	37.5	59.3	64.8	53.2	26.3	11.4
2018	39.0	61.5	65.4	53.5	26.8	12.5
2019	39.3	61.9	66.2	55.3	26.9	11.9
2020	38.5	58.2	66.6	56.5	27.6	12.5
2021	37.7	59.2	63.7	52.6	28.0	12.5
2022	37.7	58.2	66.1	51.4	27.2	12.2
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円) <sup>1</sup>						
2017年	1295	-521	19	1082	2177	2264
2018	1194	-648	-93	1095	2120	2145
2019	1185	-650	-48	1052	2080	2183
2020	1219	-536	-150	1004	2142	2173
2021	1313	-640	-38	1154	2323	2232
2022	1325	-657	-66	1208	2251	2321
世帯数分布(%) <sup>2</sup>						
2022年	100.0	11.0	18.5	19.2	19.5	31.9

1 マイナスは、負債超過額を示す。

2 貯蓄・負債編は、貯蓄・負債不詳世帯を除いて集計している。このため、世帯数分布は家計収支編の世帯数分布とは必ずしも一致しない。

(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯

二人以上の世帯のうち負債保有世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が812万円と最も少なくなっているのに対し、60歳以上の世帯は1689万円と最も多くなっており、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高は多くなっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が2517万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高は少なくなっている。

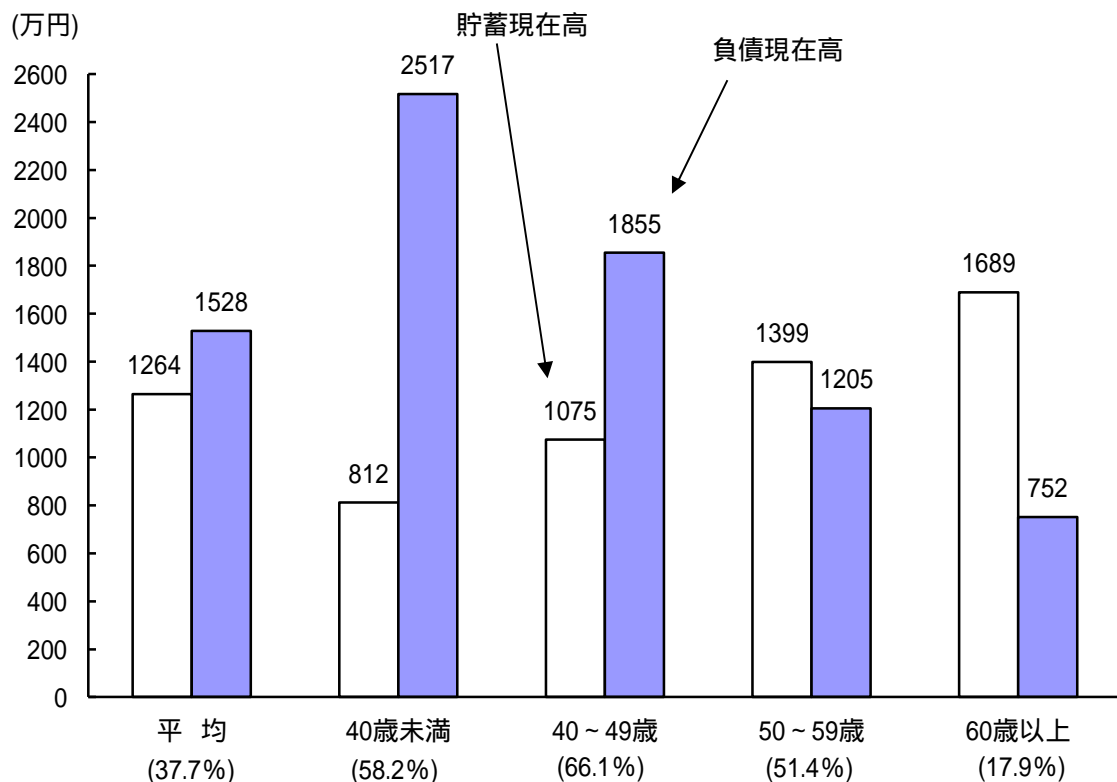
純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、40歳未満の世帯の負債超過額が1705万円と最も多くなっている。一方、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60歳以上の世帯の純貯蓄額は937万円となっている。

40歳未満の世帯について貯蓄現在高をみると、前年に比べ115万円、16.5%の増加となっている。一方、負債現在高は前年に比べ209万円、9.1%の増加となり、負債現在高の約9割(94.7%)を占める住宅・土地のための負債は2384万円で、前年に比べ201万円、9.2%の増加となっている。

(図 - 1 - 2、表 - 1 - 2)

図 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち負債保有世帯) - 2022年 -



注) ( )内は、当該階級ごとの二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合

表 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
貯蓄現在高(万円)					
2017年	1142	533	924	1414	1628
2018	1119	585	880	1428	1530
2019	1100	670	951	1244	1510
2020	1203	678	952	1380	1725
2021	1250	697	973	1428	1781
2022	1264	812	1075	1399	1689
対前年増減率 (%)					
2018年	-2.0	9.8	-4.8	1.0	-6.0
2019	-1.7	14.5	8.1	-12.9	-1.3
2020	9.4	1.2	0.1	10.9	14.2
2021	3.9	2.8	2.2	3.5	3.2
2022	1.1	16.5	10.5	-2.0	-5.2
年間収入(万円)					
2022年	778	708	815	909	636
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)					
2022年	162.5	114.7	131.9	153.9	265.6
負債現在高(万円)					
2017年	1379	1893	1629	1159	885
2018	1430	2029	1689	1277	794
2019	1451	2167	1697	1178	801
2020	1486	2142	1850	1235	802
2021	1505	2308	1840	1314	732
2022	1528	2517	1855	1205	752
対前年増減率 (%)					
2018年	3.7	7.2	3.7	10.2	-10.3
2019	1.5	6.8	0.5	-7.8	0.9
2020	2.4	-1.2	9.0	4.8	0.1
2021	1.3	7.7	-0.5	6.4	-8.7
2022	1.5	9.1	0.8	-8.3	2.7
住宅・土地のための負債(万円)					
2017年	1235	1783	1525	1015	666
2018	1283	1924	1576	1100	604
2019	1318	2073	1587	1045	601
2020	1346	2012	1731	1097	628
2021	1359	2183	1697	1174	567
2022	1395	2384	1740	1067	600
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)					
2017年	-237	-1360	-705	255	743
2018	-311	-1444	-809	151	736
2019	-351	-1497	-746	66	709
2020	-283	-1464	-898	145	923
2021	-255	-1611	-867	114	1049
2022	-264	-1705	-780	194	937
世帯数分布 (%)					
2022年	100.0	16.9	32.5	26.2	24.4

マイナスは、負債超過額を示す。

## 2 年間収入五分位階級別

### (1) 負債現在高は年間収入が高くなるに従って多い

二人以上の世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢71.0歳)が1510万円、年間収入が最も高い第5階級(同52.8歳)が2816万円となっている。

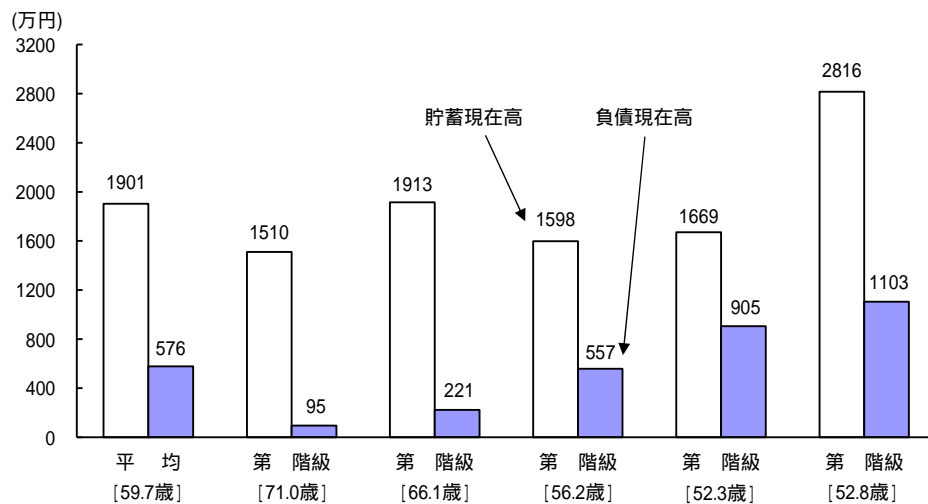
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、定期性預貯金は第1階級が37.7%と最も高く、第5階級が23.8%と最も低くなっている。有価証券は第1階級が18.5%と最も高く、第5階級が10.1%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が95万円、第5階級が1103万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 1、図 - 2 - 2、表 - 2 - 1)

年間収入五分位階級とは、年間収入の低い方から高い世帯へと順に並べて5等分したもので、低い方から第1階級、第2階級、第3階級、第4階級、第5階級(五分位)階級という。

図 - 2 - 1 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯) - 2022年 -



注) [ ]内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 2 年間収入五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比(二人以上の世帯) - 2022年 -

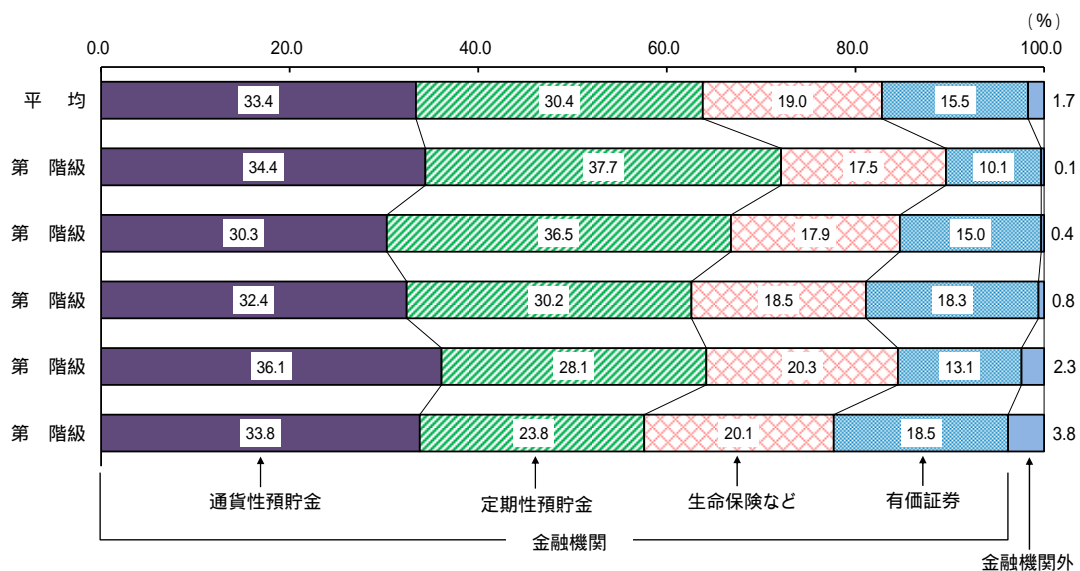


表 - 2 - 1 年間収入五分位階級、貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯) - 2022年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 331万円	331~ 469万円	469~ 642万円	642~ 896万円	896万円 ~
世 帯 人 員 ( 人 )	2.91	2.33	2.58	3.03	3.27	3.31
世 帯 主 の 年 齢 ( 歳 )	59.7	71.0	66.1	56.2	52.3	52.8
持 家 率 ( % )	85.2	84.6	86.2	83.1	84.5	87.5
年 間 収 入		金 額(万円)				
	641	259	397	552	758	1238
貯 蓄 現 在 高		金 額(万円)				
金 融 機 関	1901	1510	1913	1598	1669	2816
通 貨 性 預 貯 金	1868	1508	1906	1586	1630	2709
定 期 性 預 貯 金	634	520	579	517	603	952
生 命 保 険 な ど	578	570	698	482	469	671
有 価 証 券	362	265	343	295	339	566
金 融 機 関 外	294	153	286	292	218	520
	33	2	7	12	39	107
貯 蓄 現 在 高		構 成 比(%)				
金 融 機 関	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通 貨 性 預 貯 金	98.3	99.9	99.6	99.2	97.7	96.2
定 期 性 預 貯 金	33.4	34.4	30.3	32.4	36.1	33.8
生 命 保 険 な ど	30.4	37.7	36.5	30.2	28.1	23.8
有 価 証 券	19.0	17.5	17.9	18.5	20.3	20.1
金 融 機 関 外	15.5	10.1	15.0	18.3	13.1	18.5
	1.7	0.1	0.4	0.8	2.3	3.8
負 債 現 在 高		金 額(万円)				
住 宅 ・ 土 地 の た め の 負 債	576	95	221	557	905	1103
住 宅 ・ 土 地 以 外 の 負 債	526	79	195	512	834	1009
月 賦 ・ 年 賦	35	11	14	27	52	70
	15	5	12	17	18	23
負 債 現 在 高		構 成 比(%)				
住 宅 ・ 土 地 の た め の 負 債	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住 宅 ・ 土 地 以 外 の 負 債	91.3	83.2	88.2	91.9	92.2	91.5
月 賦 ・ 年 賦	6.1	11.6	6.3	4.8	5.7	6.3
	2.6	5.3	5.4	3.1	2.0	2.1

(2) 勤労者世帯の貯蓄現在高は年間収入が高くなるに従って多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢52.0歳)が874万円、年間収入が最も高い第5階級(同51.2歳)が2714万円となっており、年間収入が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっている。

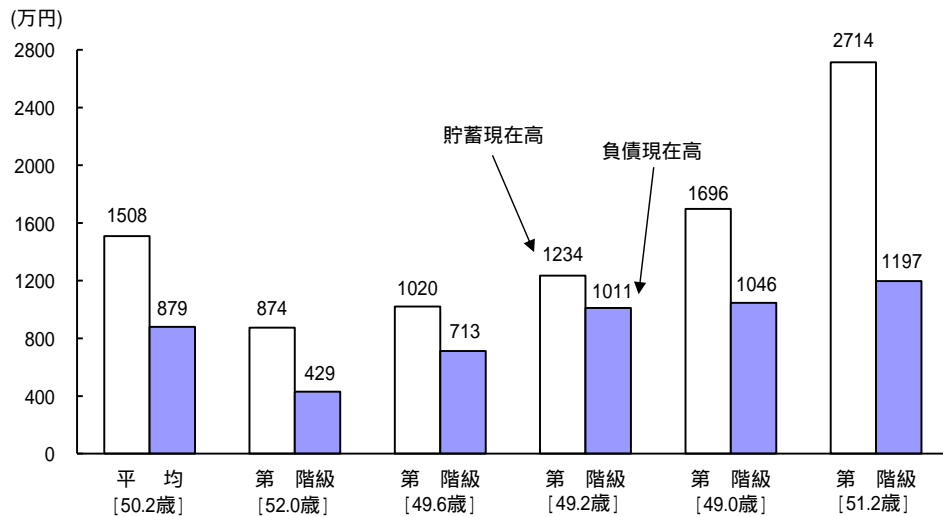
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、定期性預貯金は第1階級及び第2階級が28.6%と最も高く、第5階級が22.5%と最も低くなっている。有価証券は第1階級が16.7%と最も高く、第5階級が9.0%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が429万円、第5階級が1197万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 3、図 - 2 - 4、表 - 2 - 2)

図 - 2 - 3 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2022年 -



注) [ ]内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 4 年間収入五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2022年 -

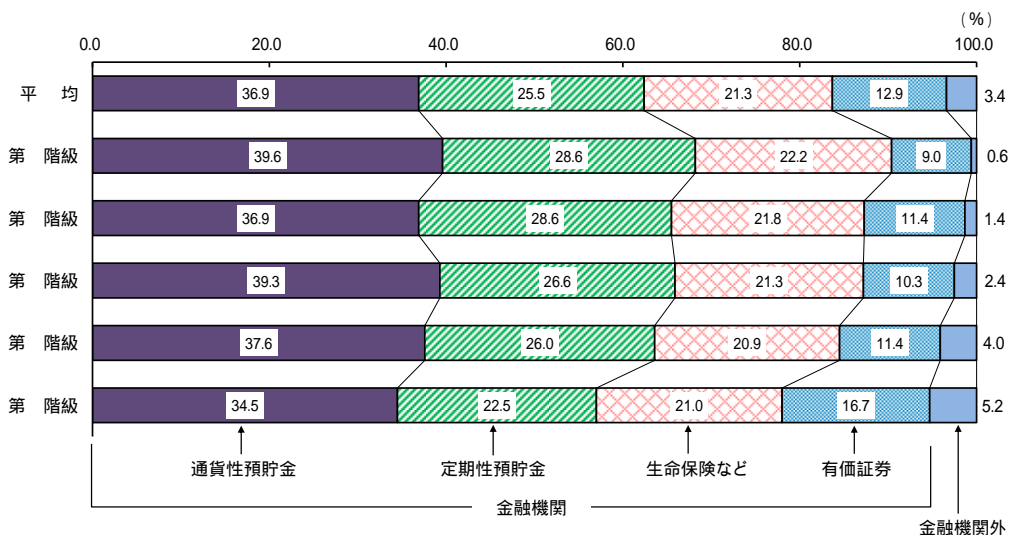


表 - 2 - 2 年間収入五分位階級、貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2022年 -

項目	平均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 485万円	485~ 627万円	627~ 789万円	789~ 1012万円	1012万円 ~
世帯人員(人)	3.23	2.88	3.23	3.29	3.36	3.40
世帯主の年齢(歳)	50.2	52.0	49.6	49.2	49.0	51.2
持家率(%)	80.2	70.5	77.2	82.4	82.9	87.9
年間収入	768	369	金額(万円) 556 704		892	1321
貯蓄現在高	1508	874	金額(万円) 1020 1234		1696	2714
金融機関	1456	868	1006	1204	1628	2572
通貨性預貯金	556	346	376	485	638	936
定期性預貯金	384	250	292	328	441	612
生命保険など	321	194	222	263	355	570
有価証券	194	79	116	127	194	454
金融機関外	52	5	14	30	68	142
貯蓄現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
金融機関	96.6	99.3	98.6	97.6	96.0	94.8
通貨性預貯金	36.9	39.6	36.9	39.3	37.6	34.5
定期性預貯金	25.5	28.6	28.6	26.6	26.0	22.5
生命保険など	21.3	22.2	21.8	21.3	20.9	21.0
有価証券	12.9	9.0	11.4	10.3	11.4	16.7
金融機関外	3.4	0.6	1.4	2.4	4.0	5.2
負債現在高	879	429	金額(万円) 713 1011		1046	1197
住宅・土地のための負債	813	381	670	937	975	1102
住宅・土地以外の負債	45	28	25	54	48	72
月賦・年賦	21	20	18	20	22	22
負債現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
住宅・土地のための負債	92.5	88.8	94.0	92.7	93.2	92.1
住宅・土地以外の負債	5.1	6.5	3.5	5.3	4.6	6.0
月賦・年賦	2.4	4.7	2.5	2.0	2.1	1.8



### 3 貯蓄現在高五分位階級別

貯蓄現在高が最も多い第 階級の世帯の有価証券の割合は約 2 割

二人以上の世帯について貯蓄現在高五分位階級別 に貯蓄・負債現在高をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って、負債現在高は少なくなる傾向にある。貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少ない階級では、通貨性預貯金の割合が高くなっている。一方、貯蓄現在高が多い階級では、定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が最も多い第 階級についてみると、有価証券の割合は約 2 割(20.4%)となっている。

( 図 - 3 - 1、図 - 3 - 2、表 - 3 - 1 )

貯蓄現在高五分位階級とは、貯蓄現在高の少ない方から多い世帯へと順に並べて 5 等分したもので、少ない方から第 階級、第 階級、第 階級、第 階級、第 階級 (五分位)階級という。

図 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯) - 2022年 -

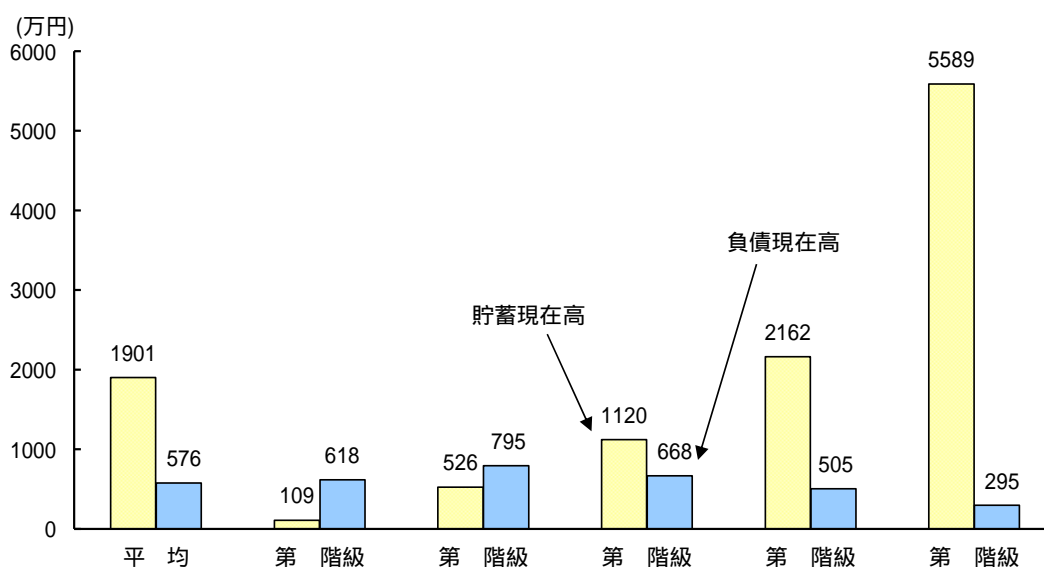


図 - 3 - 2 貯蓄現在高五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯) - 2022年 -

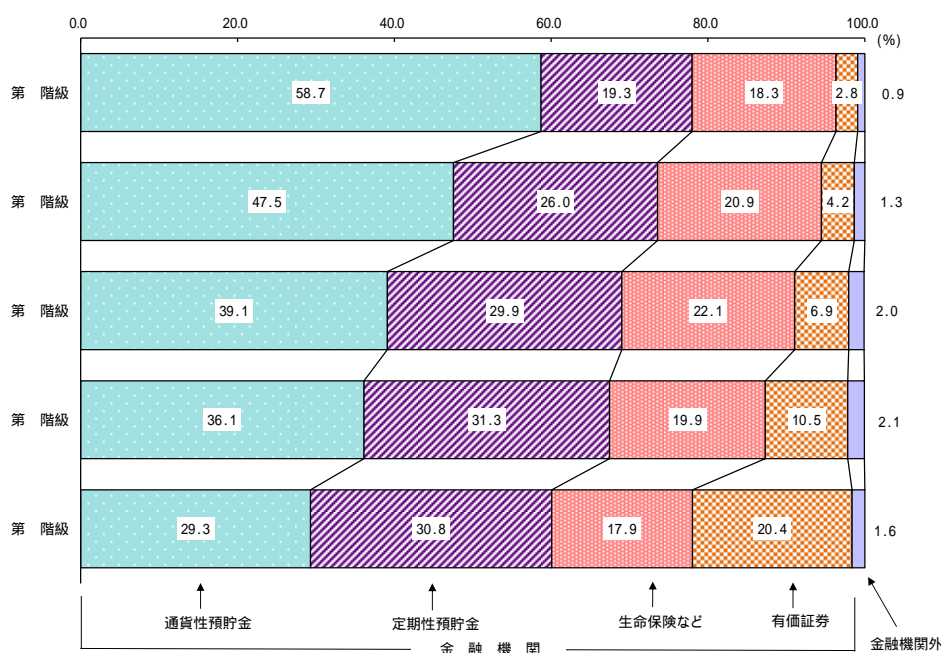


表 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 2022年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 297万円	297 ~ 789万円	789 ~ 1542万円	1542 ~ 2961万円	2961万円 ~
金 額 (万円)						
貯 蓄 現 在 高	1901	109	526	1120	2162	5589
金 融 機 関	1868	108	519	1097	2116	5499
通貨性預貯金	634	64	250	438	781	1638
定期性預貯金	578	21	137	335	677	1720
生命保険など	362	20	110	247	430	1003
有 価 証 券	294	3	22	77	227	1138
金 融 機 関 外	33	1	7	22	46	90
(参考)年間収入	641	513	605	647	684	755
構 成 比 (%)						
貯 蓄 現 在 高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金 融 機 関	98.3	99.1	98.7	97.9	97.9	98.4
通貨性預貯金	33.4	58.7	47.5	39.1	36.1	29.3
定期性預貯金	30.4	19.3	26.0	29.9	31.3	30.8
生命保険など	19.0	18.3	20.9	22.1	19.9	17.9
有 価 証 券	15.5	2.8	4.2	6.9	10.5	20.4
金 融 機 関 外	1.7	0.9	1.3	2.0	2.1	1.6
構成比の対前年変化幅(ポイント)						
貯 蓄 現 在 高						
金 融 機 関	-0.2	0.1	0.5	0.0	-0.2	-0.3
通貨性預貯金	2.3	-1.9	1.0	1.8	2.5	2.1
定期性預貯金	-2.3	1.1	-0.1	-1.6	-2.4	-2.6
生命保険など	0.0	1.1	-0.1	-0.5	-0.7	0.4
有 価 証 券	-0.2	0.8	-0.3	0.4	0.3	-0.2
金 融 機 関 外	0.2	-0.1	-0.5	-0.1	0.2	0.3

4 持家世帯（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

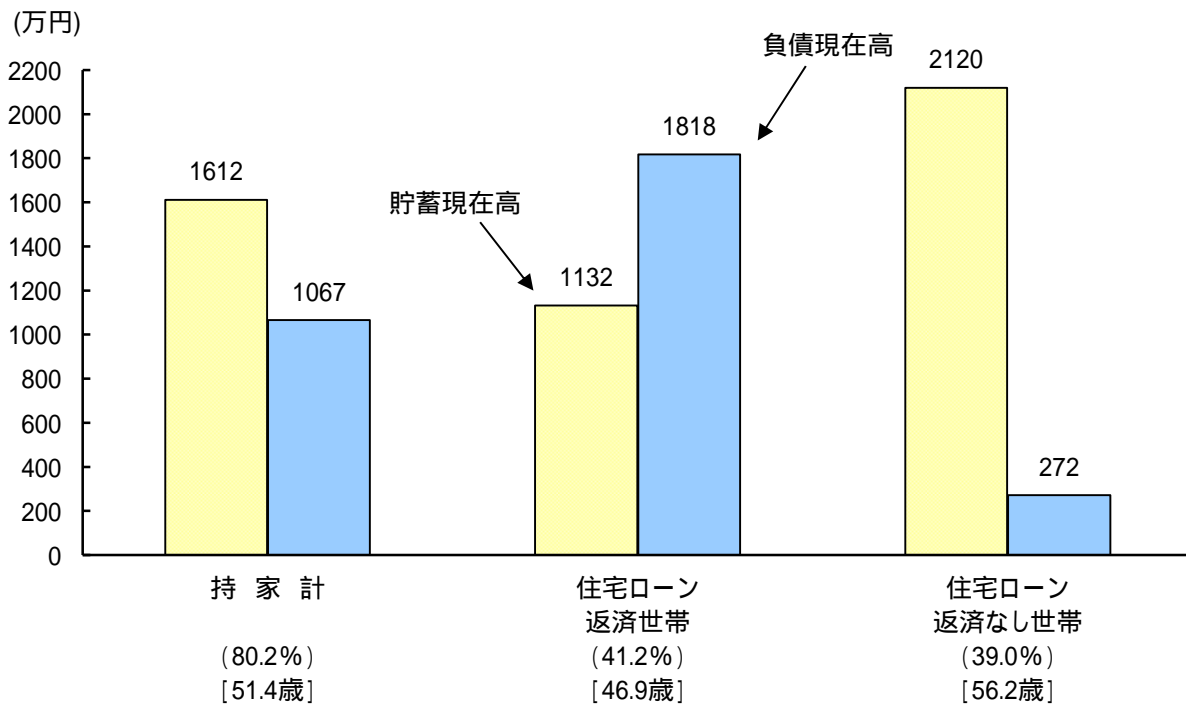
持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1818万円

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯（勤労者世帯に占める割合80.2%、世帯主の平均年齢51.4歳）について、住宅ローンの有無別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、住宅ローン返済世帯（同41.2%、同46.9歳）は、1132万円となっており、前年に比べ75万円、7.1%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯（同39.0%、同56.2歳）は、2120万円となっており、前年に比べ19万円、0.9%の増加となっている。

同様に、負債現在高をみると、住宅ローン返済世帯は、1818万円となっており、前年に比べ25万円、1.4%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯は、272万円となっており、前年に比べ13万円、5.0%の増加となっている。

（図 - 4 - 1、表 - 4 - 1）

図 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高  
（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 2022年 -



注) 1 ( )内は、勤労者世帯に占める割合  
2 [ ]内は、世帯主の平均年齢

表 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年次	金額(万円)			対前年増減率(%)		
	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯
	貯蓄現在高					
2017年	1447	956	1962	1.6	5.5	-1.6
2018	1437	918	2021	-0.7	-4.0	3.0
2019	1474	969	2035	2.6	5.6	0.7
2020	1473	1017	1947	-0.1	5.0	-4.3
2021	1561	1057	2101	6.0	3.9	7.9
2022	1612	1132	2120	3.3	7.1	0.9
	負債現在高					
2017年	978	1690	231	-0.3	2.5	-6.5
2018	1016	1695	252	3.9	0.3	9.1
2019	1047	1724	294	3.1	1.7	16.7
2020	1036	1763	280	-1.1	2.3	-4.8
2021	1052	1793	259	1.5	1.7	-7.5
2022	1067	1818	272	1.4	1.4	5.0
	住宅・土地のための負債					
2017年	919	1605	200	1.1	3.1	1.5
2018	950	1609	208	3.4	0.2	4.0
2019	984	1642	252	3.6	2.1	21.2
2020	971	1677	237	-1.3	2.1	-6.0
2021	985	1701	218	1.4	1.4	-8.0
2022	996	1718	232	1.1	1.0	6.4
	世帯主の年齢(歳)					
2022年	51.4	46.9	56.2	-	-	-

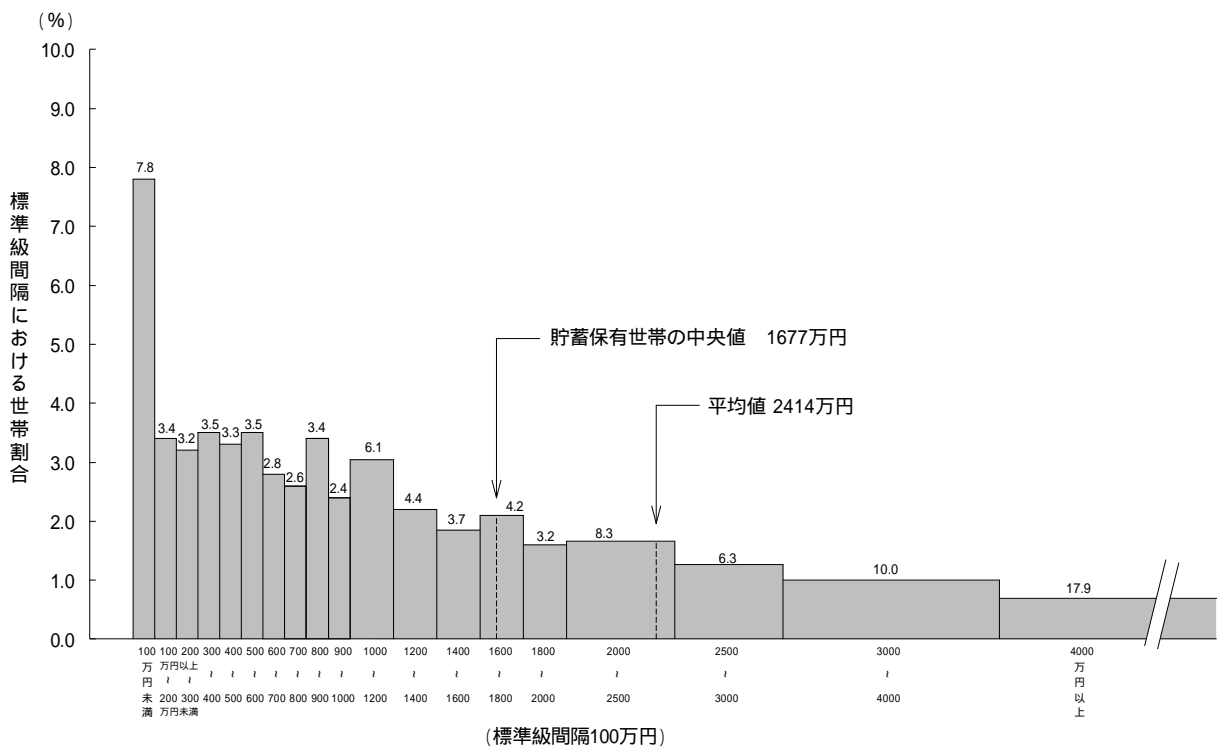
5 世帯主が65歳以上の世帯

(1) 世帯主が65歳以上の世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める

二人以上の世帯のうち世帯主が65歳以上の世帯（二人以上の世帯に占める割合42.6%）について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、二人以上の世帯全体と比べて、世帯主が65歳以上の世帯では、貯蓄現在高が高い階級にも広がった分布となっている。そのうち2500万円以上の世帯は、全体の34.2%と約3分の1を占めている。一方で、300万円未満の世帯は、全体の14.4%を占めている。

(図 - 1 - 3、図 - 5 - 1、表 - 5 - 1)

図 - 5 - 1 世帯主が65歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2022年 -



注) 標準級間隔100万円（貯蓄現在高1000万円未満）の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、貯蓄現在高1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄「0」世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

表 - 5 - 1 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2022年 -

世帯分布	平均	世帯割合 (%)		
		300万円未満	300万円以上～2500万円未満	2500万円以上
二人以上の世帯	100.0	19.6	55.2	25.2
うち世帯主が65歳以上の世帯	100.0	14.4	51.4	34.2
うち世帯主が65歳未満の世帯	100.0	23.5	58.0	18.5

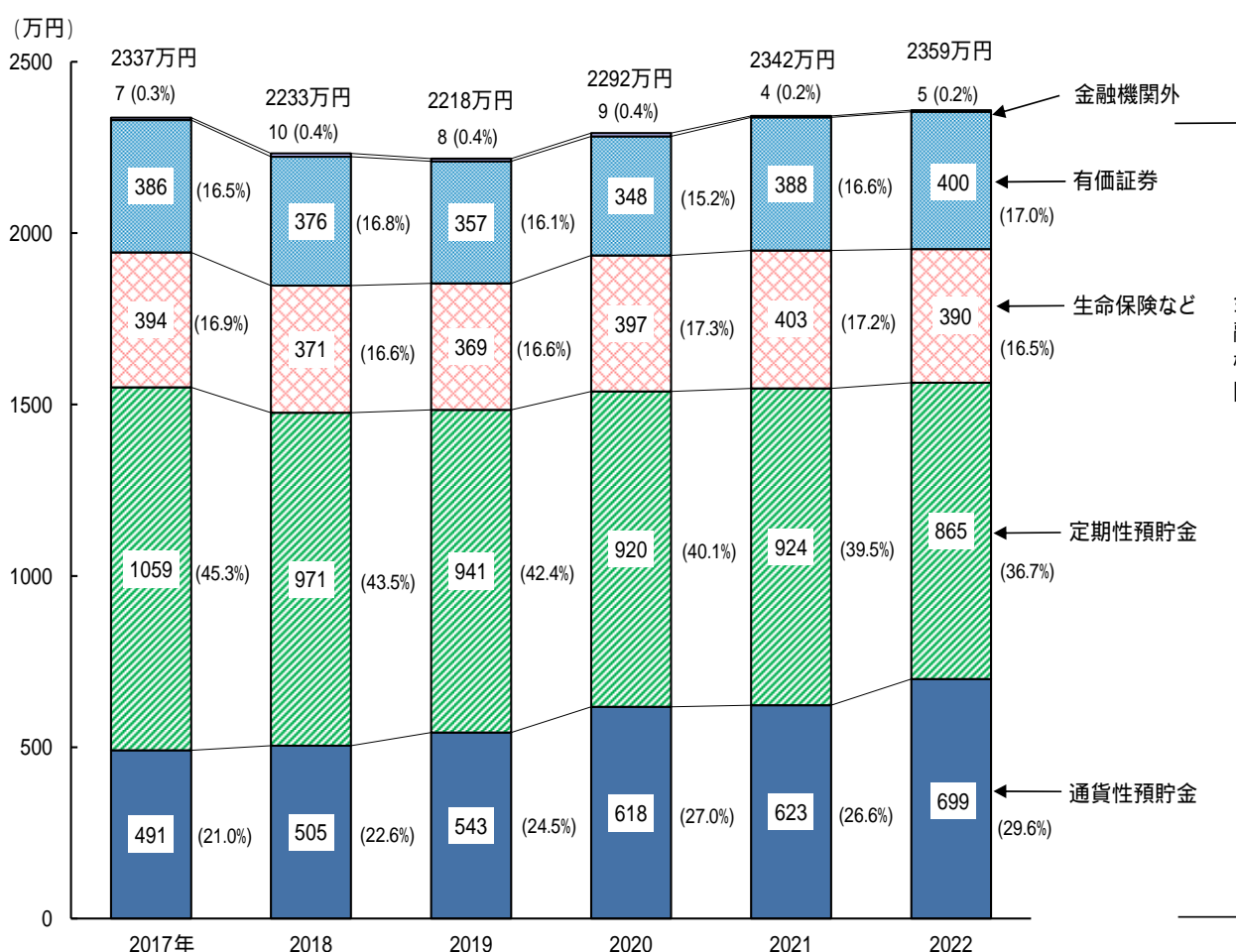
(2) 世帯主が65歳以上の無職世帯の有価証券は400万円で前年に比べ3.1%の増加

二人以上の世帯のうち世帯主が65歳以上の無職世帯（二人以上の世帯に占める割合32.0%）の1世帯当たり貯蓄現在高は、2359万円で、前年に比べ17万円、0.7%の増加となり、3年連続の増加となっている。

貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が865万円と最も多く、次いで通貨性預貯金が699万円、有価証券が400万円、「生命保険など」が390万円、金融機関外が5万円となっている。また、前年と比べると、通貨性預貯金が76万円、12.2%の増加、有価証券が12万円、3.1%の増加などとなっている。

(図 - 5 - 2、表 - 5 - 2)

図 - 5 - 2 世帯主が65歳以上の無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

表 - 5 - 2 世帯主が65歳以上の無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	貯蓄現在高	金融機関					金融機関外
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券		
金額(万円)							
2017年	2337	2330	491	1059	394	386	7
2018	2233	2224	505	971	371	376	10
2019	2218	2210	543	941	369	357	8
2020	2292	2284	618	920	397	348	9
2021	2342	2338	623	924	403	388	4
2022	2359	2354	699	865	390	400	5
構成比(%)							
2017年	100.0	99.7	21.0	45.3	16.9	16.5	0.3
2018	100.0	99.6	22.6	43.5	16.6	16.8	0.4
2019	100.0	99.6	24.5	42.4	16.6	16.1	0.4
2020	100.0	99.7	27.0	40.1	17.3	15.2	0.4
2021	100.0	99.8	26.6	39.5	17.2	16.6	0.2
2022	100.0	99.8	29.6	36.7	16.5	17.0	0.2
対前年増減率(%)							
2018年	-4.5	-4.5	2.9	-8.3	-5.8	-2.6	42.9
2019	-0.7	-0.6	7.5	-3.1	-0.5	-5.1	-20.0
2020	3.3	3.3	13.8	-2.2	7.6	-2.5	12.5
2021	2.2	2.4	0.8	0.4	1.5	11.5	-55.6
2022	0.7	0.7	12.2	-6.4	-3.2	3.1	25.0